

2015年2月

みたか みんなの広場

みたか・みんなの広場運営協議会

三鷹市下連雀3-16-18

☎080-1362-5359

なりきよ

第7回市民リレートーク

高谷真理さん「中国帰国者を迎えて」

最初に、帰国者の会との関わりを話してみたいと思います。

いま、こちらにお座りの方は、鈴木五三美さんという帰国者の方で、私が「中国日本人公墓からの証言」という本を出した時に、手記を載せてもらった方です。その隣が鈴木さんという方で横浜から来ていただきました。帰国者の会の会長をやっていた鈴木則子さんのお嬢さんで、いま、帰国者二世ということで、帰国者の会の運動をやっています。

私の帰国者の方との出会いは、あるとき社会党委員長の佐々木更三の秘書をやっていた菊池薫君から電話がありまして、帰国者の相談にのってくれないか、という話があった。そこから、帰国者の会との出会いと関わりが始まっていくわけです。

日中学院で中国からきていたハルピンの王耀臣さんの送別会をやったときに、「一度残留孤児が生まれた場所を見てみたい。」と言ったところ、「どうぞ、いらっしやい。」といことになった。当時は招待がなくてはなかなか行けなかったんです。しばらくしてから、正式な招待状が来た、しかし、旅費は負担しなくちゃならない、学生とボランティアだからお金はないわけです。お金がなくて断るのももったいない話だ、ということで、知人に「労銀から出してくれないか。」と相談した。そして、第一陣の訪中団を組織することになるわけです。

このころ、帰国者の会の三鷹支部や調布支部、北部支部等が各地で組織化されていくわけですね。三鷹では、1985年に日本語学校をやるということで、ボランティアセンターを活用して日本語教室をやったらどうか、ということで、予算措置をしたわけです。現在それは憩いの家という形で帰国者の方たちが定期的に集まってお茶を飲んだり、話し合ったりしています。これは誰でも参加できますから、機会があれば参加をしてみたいな、と思います。

その後、向こうでも日本語を勉強する場所ができないか、という話になって、ハルピンの黒竜江省立交通幹部管理学院、日本では工業大学ですが、この中の建物を貸してくれるから、そこで日本からボランティアの教師を派遣してやっていい、ということになった（1988年9月）。準備している過程で、3千万円かかる、という話 came。話し合いの末、中国の人たちもいれよう、ということになって、それで費用的な負担をなくして、日本語学校を開くことができたんです。

当時、身元保証人は国費で帰ってくる人を一人しかできないんですね。しかし、正式な政府関係の保証人でないのは勝手にできるだろう、ということで、私は300人くらい身許引受人になった。

【第9回 市民リレートーク】

テーマ 「《介護》妻とにこやかに！」

トーク みたか・認知症家族支援の会

木部 茂徳さん

開催日時 2月23日（月）

午後1時30分～3時30分

場所 みたか・みんなの広場

下連雀3-16-18

連絡先 なりきよ 080-1362-5359



第一次訪中団で行ったときに、方正（ほうまさ）地区というところに日本人の公墓がある、公墓のことを広めることはそれなりに意義があることで、私は取材に行きました。そこで、取材してきたのをこういう本にまとめて（「中国日本人公墓からの証言」図書出版）、さっきの鈴木五三美さんとか乙坂さんとかが書いた。これを発行する過程でも資金がないのでどうするかということで、残留孤児の乙坂良幸というのが、大久保で中華料理屋をやっていて、そこで会った図書出版の田辺社長が帰国者問題に関心を持っていて図書出版で出してもらおうことになった。全部で2千冊出したんですけども、当時の高橋東京都副知事が東京新報という会社の伊達社長に話して、1千冊引き取ってくれたから、なんとか財政負担がなくて、この本を発行することができたわけです。

残留孤児がどうやって三鷹に定着することができたのか、ということですが、この本のなかに記録のある乙坂幸子の長男が乙坂幸司と言いますが、日本に来てから、三鷹金属に勤めさせてもらったわけです。メッキ工場ですが、10年くらい働いていた。いまは三通（さんつう）という清掃会社を作って自立をしながら何人かの人たちを雇用してやっている。また、佐藤清運という清掃業者でも「つよし」（苗字を忘れた）、を雇ってくれたり帰国者の面倒をみてくれている企業もあります。

石川タクシーという個人タクシーがありますが、これも残留孤児です。最初、和親交通に就職したんですが、言葉は達者になるし、最後には組合の委員長にまでなった。そこで経験を積んで、個人タクシーの免許をとって仕事をしている。このように、それぞれ来たときはたいへんだけれども、たくましく地域の中で定着して住んでいる人たちも何人もいるわけです。

（次ページへ）

(前ページから続く)

帰国者の問題点としては、言葉の問題、就職の問題、住居の問題、老後の問題といろいろあるわけです。でもこういう問題は残留孤児でなくたって不安を持っている人たちもいるわけです。これを差別するからいけないんです。残留婦人と残留孤児の違いはなんだったのか、と言うと、終戦の当時13歳だった人は残留婦人で、それ以下が残留孤児だというわけです。それで、日本に帰ってきたときに手当や法的な体制がまったく差別される。本人の意志で中国人といっしょになったんだから中国籍だ、こういうんだけど、そういうふうに一刀両断で切り捨てていいような時代的背景と状況だったのか、ということですね。現地の日本人は、日中国交回復までは日本国籍があった。しかし、日中国交回復してあの地域に中国の支配権が顕在化した瞬間から日本国籍が全部なくなって中国籍になった。国籍をとれるかとれないかということは日本にいられるかいられないかの問題もあるし、まさに生活にかかわってるでしょ、ストレートに。

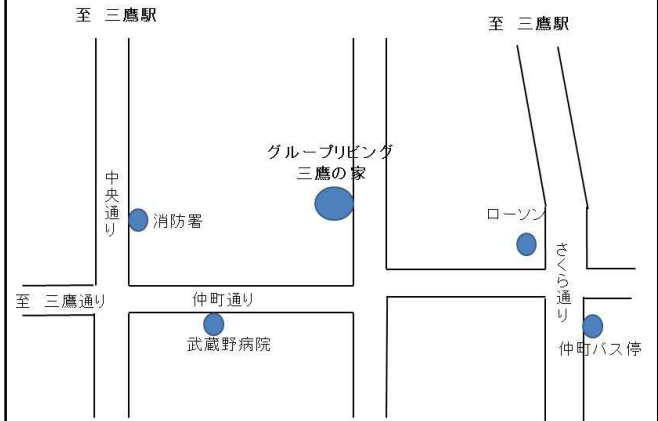
そんななかで帰国者の会というのは、弁護士会の人権賞をもらうとか、ソロプチミストアメリカ国際女性賞をもらうとか、会長の鈴木則子さんは厚生大臣賞をもらったり、会としても厚生大臣の団体表彰を受けているんです。

以上、詳しくは話しきれませんが、いままでこんなふうにしてやってきたわけです。

みたか・みんなの広場移転のお知らせ

みたか・みんなの広場は3月末に新しい場所へ移転します。活動内容は原則として変更はありません。今後ともよろしく願います。

新住所 三鷹市下連雀4丁目5番19号
グループリビング・みたかの家内



みたか・みんなの広場 催しのご案内

開催日時	テーマ	主催・連絡先
2月5日(木) 15:00~16:00	鉄道マニアになろう	鈴木 ☎080-1022-2281
2月14日(土) 13:30~15:00	般若心経を読む会	成清(なりきよ) ☎080-1362-5359
2月18日(水) 19:00~21:00	タドキオレンジカフェ・みたか	みたか・認知症家族支援の会：石村 ☎080-6627-3551
2月20日(金) 14:00~15:30	ママと子どもの科学あそび	三鷹科学あそびの会 石村 ☎080-6627-3551
2月21日(土) 13:30~15:00	タロット占い	ミスティ・ローザ ☎080-1362-5359(なりきよ)
2月21日(土) 17:00~20:00	みんなのみたか 居場所づくり	みんなのみたか すどう ☎090-9293-7636
2月23日(月) 13:30~15:30	リレートーク	みたか認知症家族支援の会 木部さん 連絡は事務局まで
2月26日(木) 13:30~15:00	転ばぬ先の杖(老後への備え)	HumannLoop“人の輪” 竹内 ☎090-7632-7251
2月27日(金) 14:00~15:30	みたかオレンジカフェ	みたか・認知症家族支援の会：石村 ☎080-6627-3551

みたか
みんなの広場

NPO法人Humanloop“人の輪”
<http://humanloop.web.fc2.com/>

NPO法人グレースケア機構
<http://g-care.org/>

みたか・認知症家族支援の会
<http://mitakanfs.blog.fc2.com/>

NPO法人日本シニアジョブクラブ
<http://jsjc.web.fc2.com/>

三鷹市医療と福祉をすすめる会

三鷹科学遊びの会